

明光義塾企画・監修×文理コラボ教材 『毎日ちょっと 365日ドリル英語』3月発売開始

個別指導の学習塾「明光義塾」を全国展開する株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山下 一仁）が企画・監修した、小学生向け家庭学習用教材『毎日ちょっと 365日ドリル英語』が、株式会社学研ホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：宮原 博昭）のグループ会社、小中学生向け学習参考書の出版社である株式会社文理（本社：東京都品川区、代表取締役社長：土屋 徹）より、3月に発売されます。



【書籍概要】

書名：『毎日ちょっと 365日ドリル英語』

編：株式会社文理

定価：1,320円（本体1,200円＋税10%）

発売日：2022年3月3日頃

判型：A4判／100 ページ

付録：英語音声（音声配信）

発行所：株式会社文理

特設サイト：<https://portal.bunri.jp/365drill.html>

■『毎日ちょっと 365日ドリル英語』企画の背景

学習指導要領の改訂により、小学校から英語の教科化が始まりました。中学1年生は、小学生で学んできたことを前提とした授業が行われ、中学校卒業までに習得すべき語彙数も大幅に増えています。定期テストの出題傾向も含め、英語教育が大きく変化しています。

このような変化に対応し、小学生以降も必要となる単語の覚え方を身につけ、「やればできる」の記憶をつくる体験をしていただけるような、教材を企画しました。

■『毎日ちょっと 365日ドリル英語』の特長

1. 分野別に学習できる

①～⑥の計6冊で、小学校で習う700語を習得できます。分野別になっているため、興味のあるテーマから単語学習を始めていただくことが可能です。

【シリーズ構成】

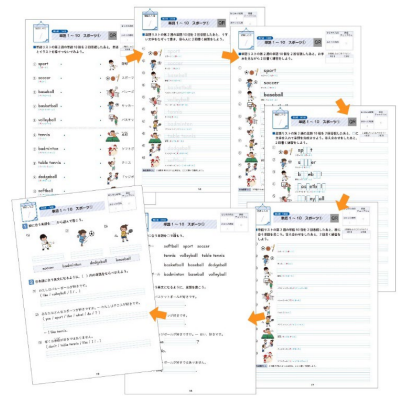
- ①日付・教科・職業 ②数・動物・家族 ③建物・食べ物・からだ ④行事・スポーツ・文房具
⑤国・乗り物・果物 ⑥動作・状態・その他

2. 明光式で確実に身につく

明光義塾でも活用している、記憶に残りやすくするための「単語の覚え方」を教材にし、塾生以外の方にも利用いただけるようにしました。

人間の脳は、「たくさん出会う情報は大切なもの」と認識して、記憶できるようになっています。そのため、大切なのは覚えたい単語に最低でも「1週間毎日出会うこと」です。

1週間10個の単語を毎日様々な方法で繰り返し学習することで、記憶を定着させます。



3. 机に向かう習慣が身につく

1日1ページ、1回10分程度で進めることができる教材のため、「毎日ちょっと」の学習習慣が身につきます。

4. 聞く力を高める

全ての単語に音声が付いており、合わせてリスニングテストで確認することもできるため、正しい発音やリスニング力を身につけることができます。

【株式会社文理】

会社名：株式会社文理

所在地：〒141-8426 東京都品川区西五反田2-11-8

代表者：土屋 徹

設立：1950年

会社HP：<https://www.bunri.co.jp/>

事業内容：小学生・中学生・高校生用の学習参考書・問題集、塾専用教材、学校採用図書教材等の出版・販売

【株式会社明光ネットワークジャパン】

会社名：株式会社明光ネットワークジャパン

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル30F

代表者：山下 一仁

設立：1984年

会社HP：<https://www.meikonet.co.jp/>

事業内容：日本初の個別指導塾「明光義塾」を中心に複数のブランドを展開する教育事業を運営。各事業ブランドのフランチャイズ展開。

※本リリースは、株式会社文理との共同リリースです。重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社明光ネットワークジャパン

マーケティング部 担当：五十嵐

E-MAIL：meiko-pr@meikonetwork.jp